

次期海域管理計画策定に係る論点について

1 H22年度 第1回WG (H23. 2. 22 開催)

| 検討項目 | 該当内容 | 主な意見 | 事務局対応案 |
|--------------|--|--|---|
| 構成要素 調査対象 | <ul style="list-style-type: none"> 現行に地球温暖化に関わる項目を新たに加えるべきか？ | <ul style="list-style-type: none"> 漁業と温暖化との因果関係について、なにかしらのモニタリングを望む 温暖化の傾向は、数十年におよぶスケールから判断されるものなので、5カ年計画の中では困難 気候変動しても世界自然遺産の価値を損なわないという観点から評価しては 漁業関係者やWG以外の専門家も交えた評価体制が必要 以上のほか、新たに必要となるものも出てくると考えられるので、現行項目の評価作業の中から検討 社会経済的な要素については、適正利用・エコツーリズム検討会議や科学委員会の議論として持ち上げていく | <p>→ 地球温暖化については、新たな構成要素、調査対象として設けず、現行項目の中から地球温暖化に関連するもの全てを選び、総合的に判断する。</p> <p>→ 社会経済的な要素については、委員提案により新たな構成要素・調査対象を設定</p> |
| 指標種 | <ul style="list-style-type: none"> 現行の魚介類2種、海棲哺乳類2種、海鳥類2種、海ワシ類5種以外に必要か？ | <ul style="list-style-type: none"> スケトウダラについては、ロシア、トロール船の漁獲もあることから、しっかりと管理計画を考えていくべき 漁業統計から魚種全般について、漁獲量だけでなく漁獲高からも分析が可能ではないか。 レクリエーションと関連して釣船による釣果も把握してみても | <p>→ 指標種についても構成要素、調査項目同様、基本的には新たな種の追加は行わないが、魚種全般の漁獲統計から著しい変動のあった魚種を随時、加えるなど臨機応変のつくりとする。</p> |
| 見直し 手法 | <ul style="list-style-type: none"> フォーマットとして定めた評価シートを用いて現行31項目各々について、専門分野ごとに評価し、集約したものを見直し案に反映 評価にあたっては、数値目標を立てず、「向上・維持・劣化」という形で記述 | <ul style="list-style-type: none"> 数量的に評価できないものがあるので、「向上・維持・劣化」という定性的な評価の形自体は可。 ただし、主観的な価値観を想起する恐れがあるので、項目によっては客観的な「増加」「減少」といった表現に代え、備考欄に特記事項を記述する方が良い。 以上を踏まえ、評価シート作成にあたり修正していく。 評価にあたっては、上記シートを11種類の調査対象に当てはめて実施、それぞれについて担当委員を選定 | <ul style="list-style-type: none"> 11種類の調査対象ごとに作成した評価シート案を別途選定した委員に依頼して、フォーマットを確定する。 確定したフォーマットに従い担当委員が中心となって評価を実施。 以上の結果、及び意見集約から見直し素案を作成 |

2 H23年度 第1回WG (H23.7.23 開催)

| 検討項目 | 検討内容 | 主な意見 | 事務局対応案 |
|------------|-----------------|--|--|
| 評価シート (全般) | ・ 11種類の調査対象について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 海流観測について、調査区域の測点、等流速線等の図は意味がない。 ・ 流氷について、調査時期が同じでないと比較ができない。 ・ ブイ設置による定点観測のデータは、水深を記述するれば分かりやすいデータになる。 ・ データの単位がない、又は不規則なのは良くない ・ サケ類については、シロザケ、カラフトマス、サクラマスなど細かく分ける必要があるのでは。 ・ スケトウダラについては、年齢組成図をいれるとよい。 | → 事務局が把握しているデータを基に提示したが、不足するデータがあれば、提言をいただく。 その上で、修正データを提示 |
| | ・ 評価について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価にあたって何を検討すればよいのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価にあたっては、データから読み取るだけでなく、トレンドも含めて評価が必要。 ・ また、次期計画に向けて今後の方向性、今後何が必要なのか整理する。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ スケトウダラについて、日露政府間交渉によって資源が増えるようなニュアンスは良くない | → 左記意見を踏まえ修正 (担当委員と調整) |
| | ・ 総合的な評価について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の評価は担当の委員から出されるが、知床海域の生態系に関する議論ができていない。(小ワーキンググループで議論が必要) ・ 健康診断という問診をやって総合所見が必要では。 | → 個々の評価以外、「社会経済」、「自然生態系のつながり」、「地球温暖化」の3つの横断的な評価を小WGに依頼 |
| | ・ 温暖化に関する評価について | <ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化に関する評価について、一般的なことは書けるが、実際には難しいのでは。温暖化の影響について、各委員の認識を | <ul style="list-style-type: none"> → 現状のモニタリングで良いのか、今後の方向性について、温暖化を加えて評価する考え。 → 気候変動の部分があるが評価後、各委員に見解を求める。 |

3 H23年度 第2回WG (H24. 2. 16 開催)

| 検討項目 | 検討内容 | 主な意見 | 事務局対応案 |
|----------------|---|--|--|
| 評価シート (社会経済ほか) | <ul style="list-style-type: none"> 評価欄に書き込む内容について | <ul style="list-style-type: none"> 現行計画にはない社会経済を現行計画の評価として記述してよいものか？ | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済に限らず現行計画に触れられていない内容についても、評価する方向で検討。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 個別評価項目について | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済を評価する際、現行項目は海洋レクリエーションしかない。漁業の利用適正化に関する評価項目も立て、上記と合わせ地域産業を論ずる方がバランスがとれる | 同上 |
| 見直概要 | <ul style="list-style-type: none"> 「海洋レクリエーション等」という表記について | <ul style="list-style-type: none"> 見直し概要に書かれている「海洋レクリエーション等」を社会経済という形に直してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 現行計画の部分であるが、併記する形で整理。 |
| 評価シート全般 | <ul style="list-style-type: none"> 評価の増減表示、対象エリアについて | <ul style="list-style-type: none"> トド、スケトウダラ、海鳥の増減表示が個別と横断・総括評価で異なる、整合性必要では？ | <ul style="list-style-type: none"> 増減については、遺産地域内の計画期間における動態に統一し、広域的な動き、長期スパンにおける変化等については備考欄で整理 |
| 素案たたき台 | <p>(地球温暖化対策との協調)</p> <ul style="list-style-type: none"> 知床の海洋生態系は季節海氷による影響～ <p>ほか、「地球温暖化」という文言について</p> | <ul style="list-style-type: none"> 寒冷化もあるので温暖化だけでいいのか？ 温暖化には懐疑的である IUCNから温暖化適応戦略をつくれとある 「温暖化を含む気候変化」という表現では？ | <ul style="list-style-type: none"> 素案、評価シート、及び見直しの概要に含まれる全ての「地球温暖化」という記述をIUCN勧告和訳に準じ次のとおり修正 <p>→「<u>地球温暖化を含む気候変動</u>」</p> |
| 素案たたき台 | <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化に関わるモニタリング関係について | <ul style="list-style-type: none"> 河川APではオショロコマを温暖化の指標としているので、本計画でも指標種として検討しては？ | <ul style="list-style-type: none"> 個別種名を記述するとそれに固定してしまう恐れがあるため、気候変動に脆弱な様々な種をモニタリングできるような記述に配慮 |
| 評価シート (多様性) | <ul style="list-style-type: none"> 生物多様性の評価手法について | <ul style="list-style-type: none"> 漁獲物の多様性をもって海域の生物多様性を論ずるのは難しいのでは？ 資料に限られる状況では種多様性、多様度指数が生態系の評価に妥当と考えるが如何？ | <ul style="list-style-type: none"> 海域管理計画において生物多様性の評価を取扱う際は、多様度指数によって評価していることを注記するよう配慮 |

| 検討項目 | 検討内容 | 主な意見 | 事務局対応案 |
|---------------|---|---|---|
| 評価シート 社会経済 | <ul style="list-style-type: none"> 文化振興の取扱いについて | <ul style="list-style-type: none"> 自然を守りながら継続して行われている文化的なものは価値がある 以上をまとめることは国際的にも非常にアピールできる | <ul style="list-style-type: none"> 海域管理計画の枠を越える部分もあることから、本計画の目的である海洋生態系の保全と漁業の両立に関わる範囲に限定して取扱う |
| 素案たたき台 | <ul style="list-style-type: none"> レクリエーションに関する記述について | <ul style="list-style-type: none"> 釣り人が捨てる魚の残渣の問題があるので、釣りに訪れる人数のモニタリング必要 | <ul style="list-style-type: none"> 社会経済を扱う項の遊漁船を含めた関係記述に「自主ルールの徹底」を追記 |
| 素案たたき台 | <ul style="list-style-type: none"> アザラシに関する記述について | <ul style="list-style-type: none"> トドに比較してアザラシについては日露とも情報未整理の状況なので、今後、協調していくことにつき何らかの形で書き込むべき | <ul style="list-style-type: none"> 素案、アザラシにかかる関係箇所^①に左記意見を反映 |
| 素案たたき台 | <ul style="list-style-type: none"> 知床海洋生態系の順応的管理) …… 併せて、<u>海洋生態系の多様性が漁業や海洋レクリエーションの振興にもたらす生態系サービスの把握…</u> | <ul style="list-style-type: none"> 生態系サービスは多岐にわたるもので左記例示だけではない、もっと包括的な表現にすべき | <ul style="list-style-type: none"> 次のとおり修正 <u>併せて、海洋生態系の多様性が漁業や海洋レクリエーションの振興にもたらす生態系サービスの把握…</u> ↓ 併せて、<u>海洋生態系の多様性が漁業や海洋レクリエーションの振興などをもたらす生態系サービスの把握…</u> |
| 素案たたき台 | <p>(知床海洋生態系の順応的管理) ……</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>遺産地域内海域はロシアと隣接するため、順応的管理を行うにあたっては我が国のみ管理に限界があることから、日露の隣接地域の…</u> | <ul style="list-style-type: none"> 国境線の扱いが難しい本海域について「遺産地域内海域はロシアと隣接する」と明確に記述するのは外交上からも語弊があるのでは？ | <ul style="list-style-type: none"> 次のとおり修正 → <u>遺産地域内の海域の順応的管理を行うにあたっては我が国のみ管理に限界があることから、日露の隣接地域の…</u> |
| 素案たたき台 | <p>→ウ. 魚介類 →ア. サケ類</p> | <ul style="list-style-type: none"> サケに関する取組は河川APで進んでいるので、その状況について本計画においても何かしら反映されていいのでは？ | <ul style="list-style-type: none"> 河川AP事務局と協議し、その成果を反映させた文章に修正 |
| 素案たたき台 | <p>→ (海鳥) [保護管理等の考え方] →オ. ケイマフリ・オオセグロカモメ・ウミウ</p> | <ul style="list-style-type: none"> 海鳥の保護管理、特にケイマフリに関する記述について、具体的な取組を書き込むなど観光船との問題をもう少し整理してほしい | <ul style="list-style-type: none"> 現在、エコツーリズム検討会議で検討している内容を事例として触れた文章に修正 |